

平成28年度市職員募集

平成28年度における職員
の欠員補充のため採用資格
試験を実施します。

【第一次試験日】9月19日(土)

※受験資格、申込み方法等
詳細は実施要項(職員課窓
口で配布または市ホームペ
ージからダウンロード可)
をご覧ください。

【申込】9月3日(木)までに、必
要書類を持参または郵送で
職員課へ。

■職種・受験資格等

職種	試験区分	受験資格	募集人員
一般事務(身体障がい者対象)	上級(大卒程度)	昭和51年4月2日以降生まれの方で、次の全てに該当する方(学歴不問) ▽身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受けている方 ▽自力により通勤ができ、介護者なしに職務の遂行が可能な方 ▽原則、週38時間45分・1日7時間45分勤務できる方	1人

工事の際は近隣への配慮を忘れずに

建築工事、解体工事、リフォーム等を行うと、騒音・振動・粉じん等が発生します。

周囲に与える影響をなくすことはできませんが、他人への思いやりの心がトラブルを防止するための第一歩となります。

届け出をしましょう

▼事業者の方
騒音規制法および振動規制法に基づく特定建設作業(ジャイアントブレーカーやハンドブレーカー、空気圧縮機を用いる作業等)については、基準が定められています。該当する工事を行う場合は、工事開始日の7日前までに届け出をしてください。
なお、アスベスト使用の有無については、工事開始前に調査・確認し、結果を掲示する義務があります。除去工事を行う場合は必要な届け出や飛散防止対策

を確実に行ってください。

事前に周知をしましょう

▼事業者の方
解体工事を行う際は「狛江市建築物の解体工事における計画の事前周知と環境配慮に関する条例」に基づき、周辺環境への配慮、近隣に対する事前周知、報告書の提出を行ってください。
周辺住民は工事や工法に関する知識が不十分です。事前に工事内容等を丁寧に説明しましょう。

▼工事を発注する方

騒音・振動・粉じんの発生等、近隣の方には必ず事前に説明をしておきましょう。
また、分譲マンションの工事は居室内であっても、管理組合への届け出や承認が必要な場合がありますので確認が必要です。
環境政策課環境係

振り込め詐欺にご注意ください

市内で市役所職員をかたり、「高額療養費を還付する」と銀行口座の番号を聞き出す個人情報詐取や振り込め詐欺の電話が入っています。市から電話連絡だけで還付金をお返しすることはありませんので、振り込め詐欺の被害に遭わないよう十分注意してください。

☎安心安全課

長寿をお祝いします

長い間社会に貢献してこられた高齢者の皆さんに感謝と敬意を表し、長寿のお祝いをします。

■高齢者福祉大会

【9月6日(日)午前10時・午後1時】
所エコルマホール

【対満75歳以上の方(9月1日現在)】
内式典、演芸(健康体操・歌謡ショー「ボニージャックス」、伝統芸能「寿獅子舞と江戸太神楽」)
※手話通訳・要約筆記あり。
持招待状(8月中旬発送)



ボニージャックス

■敬老入浴券の配布

調布狛江浴場組合のご厚意により、狛江・調布市内各4カ所の公衆浴場を無料で利用できます。

【利用期間】9月18日(金)～20日(日)の3日間(利用は一人1回限り)

【対満65歳以上の市民の方(9月1日現在)】
【配布方法】9月1日(火)から18日(金)まで、福祉総合相談窓口で本人に直接配布します。
※本人確認のため保険証・運転免許証等を提示してください。
☎高齢障がい課高齢者支援係



寿獅子舞と江戸太神楽

東京都耐震キャンペーン

いつ起こるかかわからない巨大地震へ備えて
建築物の耐震化に向けた具体的な行動を

8月23日～9月13日

■建物の耐震改修工法等の展示

会および耐震相談会
【8月23日(日)～25日(火)】
【午前10時～午後6時(25日は午後4時まで)】
所新宿駅西口広場イベントコーナー(入退場自由)

【耐震フォーラム「いつか来るその日のために首都直下地震に備えて今できること」】
【9月2日(水)午後1時～4時15分】
所都庁第一本庁舎5階

【耐震化個別相談会】
【9月2日(水)午後1時30分～4時15分】
所都庁第一本庁舎5階

【耐震改修事例見学会】
【9月3日(木)～4日(金)】
【9月3日(木)～4日(金)】
所コース所▽Aコース 9月3日(木)午前・東目黒苑(品川区)
▽Bコース 9月3日(木)午後・銀座大野ビル(中央区)
▽Cコース 9月4日(金)午後・三鷹芙蓉ハイイツ(三鷹市)

【定先着500人(要予約)】
所都庁第一本庁舎5階

■体験バスツアー

【9月4日(金)午前8時30分～午後1時30分】
所内立川防災館・大林組技術研究所見学

【定先着20人(要予約)】
※詳細は東京都耐震ポータルサイトをご覧ください。

【耐震キャンペーン事務局】
【4285】81600(5491)
【5092】fatshin2015@stew.ardco.jp。

【定先着20人(要予約)】
所東京都都市整備局建築企画課

【定各コース先着20人(要予約)】
☎(5388)3362



-その257-

自転車 今むかし

明治時代の初め、自転車はアメリカやイギリスからの輸入品に限られていたため非常に高価なものであった。だから自転車を所有している家はごくわずかで、日露戦争の頃、狛江村ではわずか3軒しかなかったという。

明治時代の終わり頃、国産の自転車が出回るようになると値段も大幅に下がった。それでも明治42年で1台50円から150円もしたという(週刊朝日値段史年表による)。だからよほど豊かな家でないと買うことができなかった。覚東の高木ゲンさんが村人に天気予報を知らせるため、洋装で毎日自転車に乗って府中の郡役場まで聞きに行った時、颯爽と自転車に乗って畑道を行くゲンさんを一目見ようと大勢の人が詰め掛けたという話があるが、それほど珍しくもあり、貴重品だったのである。

そのように貴重な自転車が大正8年になると30台くらいになり、村内にも自転車屋が店開きした。しかしまだ需要が少ないので、農業の傍ら商売をするようになった。

昭和2年に小田急線が開通すると人口が増え、利用者も多くなった。昭和5年には村内の自転車が518台とある。当時の戸数が585戸だったから1戸に1台ありということになった。

やがて昭和10年代になると軍需生産優先の時代になり、自転

車の生産は少なくなったため、買いたくても買えず、貴重品になった。だから誰もが自転車を大切にし、パンク修理をしながら、時には穴が開いたタイヤにさらにタイヤの切れ端を貼り付けるなど、工夫を重ねながら修理できなくなるまで使った。戦後の混乱と物不足の時代には自転車泥棒がいて困ることもあった。だからうっかり自転車を路上に置くことさえできなかった。

なお、昭和20年代には自転車や荷車にも税金がかかり、鑑札を付けなければ走れなかった。自転車を手軽に買えるようになったのは昭和30年代後半の高度経済成長期以後のことである。自転車の生産量が多くなる一方、所得も増え、買いやすくなったのである。その上、スーパーマーケットなど量販店が安く販売することもあって、やがて1家庭1台の時代から1人1台の時代になった。

自転車時代の到来は、狛江町では団地が急増した昭和40年代に当たり、町内にも10軒くらいの自転車店があったという。

また、その頃から駅前前の放置自転車が増えるようになり、昭和45年に完成した狛江駅南口ロータリーの交通島も半分が平坦だったため、いつの間にか自転車置き場になった。北口にあった第一小学校の通学路も放置自転車で危険になったため、昭和51年9月15日の狛江市広報に「自転車公害を開放しよう」という見出しで初めてこの問題を取り上げている。

井上 孝

(狛江市文化財専門委員)